

川俣駅西口ペデストリアンデッキ開通

～明和町はコンパクトシティ構想を進めています～

令和6年3月28日、東武伊勢崎線川俣駅西口ペデストリアンデッキ開通式が行われ、企業送迎バス待機所を結ぶ屋根付き歩道と併せて4月1日より供用開始となりました。



【西口ペデストリアンデッキ開通式でテープカットの様子】

川俣駅開発は、前任の恩田町長が川俣駅橋上化計画事業として平成18年度から進めておりました。平成27年4月に私が町長に就任して事業を引き継ぎ、平成28年1月に川俣駅の橋上化が完成いたしました。



【平成28年1月21日 川俣駅橋上駅舎完成式典の様相】

そして、町の総合計画にもあるように駅前空間整備をするにあたり、平成30年に明和町立地適正化計画を策定。国土交通省から都市再生整備計画である川俣駅前コンパクトシティ構想の認可をいただき、笹川代議士、川野辺県議のお力を借りながら、令和元年度から5年計画で事業を進めてまいりました。

コンパクトシティ構想の事業が終了した今、ビジネスホテルの建設は新型コロナウイルスの影響で遅れておりますが、このペデストリアンデッキの開通が実現できたことを大変嬉しく思います。



【国交省(事務次官)に陳情】

今回の川俣駅西口開発におきましても、多くの地権者や関係者の皆様にご協力をいただき進めることが出来ました。厚く御礼を申し上げます。



【園児と西口ペデストリアンデッキを歩く】



【西口に整備されたペDESTリアンデッキ】

地元で「買い物」と「仕事」ができるように、大型商業施設コストコや工業団地造成に伴う企業の誘致を行ってきました。「医療」を充実させるため、病院と保健センターを一帯化した明和メディカルセンタービルを整備しました。

そして、この度開通した川俣駅西口ペDESTリアンデッキは、天然温泉付宿泊施設と川俣駅を結ぶほかに、災害時の緊急避難場所としての役割もあります。町民の「安全安心」を支える機能となっています。

これからずっと、皆様が便利に利用できるものだと思います。

令和6年4月12日

明和町長 富塚もとすけ